

市民生活・地域経済
を支え、地域を元気に
する事業

約25億円

Q 「市民生活・地域経済を支え、地域を元気にする事業」ってどんな事業があるの？
A 今回の当初予算(一般会計)には、地方交付税上の財政措置である「地域活性化・雇用等臨時特例費」を活用し、「企業立地奨励事業」「動植物園の再整備・希少種保存繁殖事業」「させぼ振興券事業」「福祉医療支給事業」など総額約25億円の「市民生活・経済を支え、地域を元気にする事業」を盛り込んでいます。なお、ハウステンボス再生支援についても、地域を元気にするための最重点施策との位置づけから、この特例費の一部を活用する予定にしています。

市民生活・地域経済を支え 地域を元気にする予算

平成22年度
当初予算

基本
方針

地域に元気を取り戻すため、重要施策に重点配分しました

厳しい国、地方の経済状況

一昨年の世界的な金融危機の影響を受け、わが国の経済は厳しい状況が続いています。国の経済見通しでは、これまでの経済対策もあり、景気は緩やかに回復していくと見込まれているものの、自律性に乏しく、未だ深刻な状況にあることに変わりありません。先行きも雇用情勢の悪化やデフレなどのリスクが懸念されています。

地域経済においても、平成20年秋以降、国と歩調を合わせ、経済・雇用対策に取り組んできましたが、総じて厳しい状況が続いており、景気回復には程遠い状況にあります。

経済活性化・雇用拡大など重要施策の展開を

こうした状況を踏まえると、市民生活、地域経済の下支えを図るとともに、疲弊している地域に元気を取り戻すことが緊急的な課題となっており、安定的な財

政運営を考慮し、重点施策の推進を図りつつ、できる限り市民ニーズにきめ細かく対応していく必要があると考えています。

平成22年度では、元気で活力あふれる佐世保市を実現するため、「明るく、豊かで、住みやすく、市民誰もが誇りを持つことのできるまちづくり」を基本理念とし、「市民第一主義」の姿勢を堅持しながら、地元経済の活性化・雇用拡大の推進をはじめ、まちづくりの重点課題の効果的な展開を図っています。

改革改善を図り、財源を重点配分した予算編成

予算編成に当たっては、単年度収支不足の縮減に努め、経営方針に基づく施策、市民や時代のニーズに的確に対応するため、限られた財源の重点配分に努めています。また生活関連の経費を確保し、全部局で改革改善を図りながら経常的な事務事業の見直しなどを行っています。

させぼさん家の家計簿

本市の当初予算(一般会計)を、月収42万円(年収500万円)の家計に見立てて、1カ月当たりの家計簿を作りました。



少しだけ貯金が増え、ローン残高が減りました！

収入		支出	
現金収入	374,000円	生活費	261,000円
給料	109,000円	食費	65,000円
パート収入	44,000円	医療費	98,000円
親からの仕送り	221,000円	光熱水費など雑費	61,000円
借金	36,000円	車などの修理代	2,000円
貯金取り崩し	10,000円	教育費	35,000円
繰越金	0円	子どもへの仕送り	38,000円
		借金の返済	52,000円
		家や庭の建築・改修	40,000円
		貸付など	24,000円
		貯金	5,000円
合計	420,000円	合計	420,000円

貯金残高 660,000円 (昨年) 570,000円
ローン残高 5,600,000円 (昨年) 5,730,000円

家計簿を見てみると、自分で稼げる収入(給料+パート収入)は全体の約36%となっており、仕送りに依存した家計になっています。

ここ数年、少しでも暮らし向きが良くなるように努力してきた結果、「貯金が増え、借金が減る」という傾向にあります。仕送りに対する依存度は年々増してきており、かなり無理をして仕送りを送っている親の生活が行き詰れば、わが家の家計に大きな影響が出ることも心配されます。給料やパート収入が大幅に上がることは残念ながら期待できませんので、日々の儉約で支出をできる限り抑え、使うべきところにはしっかりとお金を使っていくことで、家族を守り、将来に希望を持った生活が送れるように努めていきたいと思えます。

日々の儉約と
適切な支出に
努めます！

予算
概要

一般会計は1088億9869万円 初めて1000億円台に

当初予算の規模

会計	平成21年度	平成22年度	増減額	増減率
一般	990億8602万円	1088億9869万円	98億1267万円	9.9%
特別	707億1289万円	703億8256万円	△3億3033万円	△0.5%
企業	346億1464万円	339億620万円	△7億844万円	△2.0%
合計	2044億1355万円	2131億8746万円	87億7390万円	4.3%

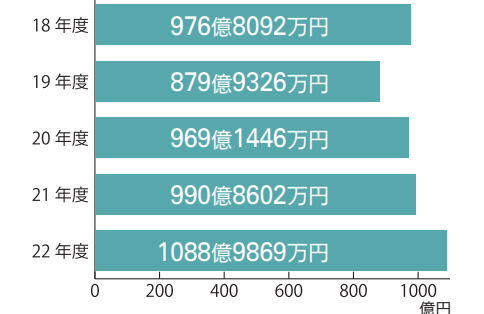
Q 一般会計はどうして98億円も増加しているの？

A 増減理由の主なものは以下のとおりです。

- ①江迎町・鹿町町との合併に伴う増 54.7億円
- ②子ども手当、生活保護など扶助費の増 41.0億円
- ③中小企業融資、水道料金改定に伴う貸付金などの増 17.1億円
- ④財政調整基金積立金など積立金の減 △9.3億円
- ⑤広域圏組合基金の返還など補助金等の減 △7.3億円 など



一般会計当初予算の推移



※表中の数値はそれぞれ四捨五入しており、合計と一致しない場合があります。